

2013年8月16日

各位

東燃ゼネラル石油株式会社  
問合せ先：  
EMGマーケティング合同会社  
広報渉外本部  
TEL:03-6713-4400

**2013年度 東燃ゼネラル児童文化賞・音楽賞 受賞者決定のお知らせ**

東燃ゼネラルグループは、2013年度東燃ゼネラル児童文化賞および音楽賞(旧エクソンモービル児童文化賞・音楽賞)(以下「当賞」)の受賞者を次の通り決定しましたので、お知らせいたします。受賞者にはそれぞれトロフィーと副賞賞金200万円が贈られます。

なお9月13日(金)に贈賞式を帝国ホテルにて、また11月21日(木)に受賞記念公演を紀尾井ホールにて実施する予定です。

**第48回 東燃ゼネラル児童文化賞 受賞者**

角野 栄子 (かどの えいこ) 作家

**第43回 東燃ゼネラル音楽賞 受賞者**

邦楽部門 今藤 尚之 (いまふじ ひさゆき) 長唄 唄方

洋楽部門 本賞 小山 実稚恵 (こやま みちえ) ピアノ

洋楽部門 奨励賞 古典四重奏団 (こてんしじゅうそうだん) 弦楽四重奏

11月21日(木)に紀尾井ホールにて開催される受賞記念公演には、本年度も一般の方100名様を抽選でご招待いたします。詳細につきましては当グループのホームページ(<http://www.tonengeneral.co.jp/>)で9月下旬にご案内する予定です。

私たち東燃ゼネラルグループは、企業も社会を構成する市民の一員であり、社会に貢献する活動を続けていくことは企業の大切な責任のひとつであると考えています。

当賞は、1966年にモービル児童文化賞、1971年にモービル音楽賞として創設されました。2001年にはエクソンモービル児童文化賞・音楽賞として継承され、さらに2012年6月に東燃ゼネラルグループの発足に伴い、名称を東燃ゼネラル児童文化賞・音楽賞と改めました。

新たな名称となっても、私たちはこの賞の持つ『一時の流行に惑わされることのない選考を通して、わが国の児童文化、音楽文化の発展、向上に尽くしてこられ、今後それぞれの分野の将来を担われる方々をたえ励ましたい』という意義を大切に継承してまいります。私たちは、この賞を通じて人々が感動し笑顔になれば、子供達の明るい未来に繋がるような社会・文化貢献を進めていきたいと考えております。

以上

添付 1: 贈賞理由及び受賞者のプロフィール

添付 2: 東燃ゼネラル児童文化賞・音楽賞の概要

添付 3: 歴代受賞者リスト

#### 東燃ゼネラルグループについて

東燃ゼネラルグループは、東燃ゼネラル石油株式会社を中心に、EMGマーケティング合同会社、東燃化学合同会社を含む複数の子会社・関連会社で構成されています。当グループは、1893年より日本で石油製品を扱ってきました。現在は安全や環境に配慮しながら、原油の輸送、精製・生産、物流、販売のサプライチェーン全般を担っています。そして今後も安定的にエネルギーを供給し、日本を未来へと動かすエネルギーカンパニーになることを目指しています。東燃ゼネラル石油は、東京証券取引所第一部に株式を上場しています。詳細につきましては、こちらのサイトをご覧ください。<http://www.tonengeneral.co.jp>

## 1. 第 48 回 東燃ゼネラル児童文化賞

角野 栄子 (かどの えいこ)

作家

<http://kiki-jiji.com/>

### ◆ 贈賞理由 ◆

『ルイジンニョ少年 ブラジルをたずねて』(1970 年)で作家デビューして以来、絵本、童話、児童文学、翻訳と、幼児からティーンズまで広範な年齢層を対象にした子どもの本の世界で精力的に活躍してきた。とりわけ 1979 年から始まる、おばけのアッチ・コッチ・ソッチの「ちいさなおばけ」シリーズは 30 冊近くまで巻数を重ね、30 年以上にわたって小さな子どもたちに読まれ続けている。また、ユニークなファンタジー『魔女の宅急便』は、宮崎駿監督によりアニメ化され、世界中の子どもたちに親しまれ、続刊は 6 冊書かれるとともに、この作品の人氣がきっかけになって、魔女に関する絵本などの著作も多い。児童文学賞などの審査委員も務め、後進の発掘にも精力的にかかわるなど、児童文化全般に寄与した功績は大きい。

(児童文化賞 選考委員会)

### ◆ 略歴 ◆

1935 年東京生まれ。早稲田大学教育学部卒。出版社勤務の後、1959 年から 2 年間、ブラジルに滞在。サンパウロのサンバの踊りの好きな少年の暮らしを描いた「ルイジンニョ少年 ブラジルをたずねて」(ノンフィクション、1979 年刊)が処女作。作品に「アッチ、コッチ、ソッチのちいさなおばけシリーズ」「魔女からの手紙」「ズボン船長さんの話」「ハナさんのおきゃくさま」「魔女の宅急便」(2009 年全 6 巻完結)「サラダで元気」「おおどろぼうブラブラ氏」「わたしのママはしずかさん」「おだんごスープ」「なぞなぞあそびうた」「ファンタジーの生まれるとき」「ラスト ラン」など多数。「魔女の宅急便」が 2013 年角川文庫になる。「魔女の宅急便」は、1989 年に宮崎駿氏によりアニメ映画化、さらに 1992 年には蜷川幸雄氏によりミュージカル化、2012 年には「ズボン船長さんの話」がアークスインターナショナルによりミュージカル化され 2013 年も公演予定。日本福祉大学客員教授、京都橘大学客員教授。神奈川県在住。

### ◆ 主な受賞歴 ◆

1981 年	第 4 回旺文社児童文学賞
1982 年	第 29 回サンケイ児童出版文化賞大賞
1984 年	第 6 回路傍の石文学賞
1985 年	第 23 回野間児童文芸賞
1985 年	第 34 回小学館文学賞
1985 年	IBBY オーナリスト文学賞
2000 年	紫綬褒章
2011 年	巖谷小波文芸賞

## 2. 第 43 回 東燃ゼネラル音楽賞 邦楽部門

今藤 尚之 (いまふじ ひさゆき)

長唄 唄方

〒157-0073 東京都世田谷区砧 1-33-16  
Tel: 03-3415-0888/ Fax: 03-3415-0197

### ◆ 贈賞理由 ◆

今藤尚之氏は演奏、教授活動のほか、舞踊や歌舞伎公演など、第一線で活躍中の長唄の唄方である。神戸在住の女流故今藤長尚(ちょうひさ)に入門し、1960年に尚之の名を許されるが、翌61年転職を決意して上京し、故三世今藤長十郎の内弟子となった。長十郎の姉今藤綾子からも厳しい指導を受け、地道な努力により技を磨き、味わい深い芸を築いて行った。荻江節でも荻江露喬(ろきょう)を名乗り、渋みのある抒情的な曲調をよく表している。舞踊家とのグループ「奏舞 くるまざ」を結成し、意欲的にさまざまな企画にも取り組み、聴く者を作品世界にひき込む、その安定した演奏力は高く評価されている。

(音楽賞邦楽部門 選考委員会)

### ◆ 略歴 ◆

1937年神戸生まれ。本名中嶋敏之。中学卒業後1953年に(株)川崎重工業入社。兵庫県立神戸工業高校の夜学に通う。1955年地元の女流故今藤長尚(ちょうひさ)に入門。1960年に尚之の名を許される。会社では現場取付係から設計係に異動したあと、故三世今藤長十郎(人間国宝)に見出され会社を辞め上京し、内弟子となる。長十郎の姉故綾子(人間国宝)にも師事する。荻江節を故五世荻江露友に学び、1964年荻江露喬を名乗る。1983年4月より大阪芸術大学の長唄の講師になる。(2012年3月まで)。同年舞踊家とのグループ「奏舞(そうぶ)くるまざ」を結成。2014年4月16回目を予定。1971年8月京都南座にて現片岡仁左衛門、我當、秀太郎三兄弟の「勸進帳」で初立唄を勤める。1993年CD「日本舞踊曲大全集」(同朋舎出版)刊行。2007年3月パリオペラ座にて市川團十郎父子の「勸進帳」に出演。2007年6月リサイタル「尚之の会」を紀尾井小ホールにて開催。他 NHK「古典芸能鑑賞会」、国立劇場主催公演、各流派の舞踊公演など出演。他後進の指導にも力を入れる。

### 3. 第 43 回 東燃ゼネラル音楽賞 洋楽部門本賞

小山 実稚恵 (こやま みちえ)

ピアノ

株式会社 AMATI

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-5

アークヒルズエグゼクティブタワーS201

Tel: 03-3560-3007/ Fax: 03-3560-3008

<http://www.amati-tokyo.com/>

ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル

〒107-8301 東京都港区赤坂 9-6-35

Tel: 03-5786-8705

<http://www.sonymusic.co.jp/>

#### ◆ 贈賞理由 ◆

我が国のピアノ界において常に第一線で活躍を続け、その詩的で、しかもドラマティックな演奏により一貫して聴き手を魅了、高く評価されているのが小山実稚恵である。1959年仙台の生まれで、東京芸術大学に学んでいる。1982年にはチャイコフスキー国際コンクールに第三位、1985年にはショパン国際コンクールに第四位と優秀な成績を収めている。以来、精力的な演奏活動を繰り広げているし、2006年から17年までという長期計画で行われているリサイタル・シリーズは彼女の演奏家としての原点であり、また目標ともなっている。それにしても小山実稚恵のピアノの世界は美しい。しかも人間による人間のための音楽としての輝きと潤いがあり、それは改めて音楽の力を実感させるものといえよう。

(音楽賞洋楽部門 選考委員会)

#### ◆ 略歴 ◆

チャイコフスキー、ショパンの二大国際ピアノコンクールに入賞した日本人で唯一のピアニスト。コンチェルトのレパートリーは60曲にも及び、国内外のオーケストラや著名指揮者とも数多く共演を重ねている。2006年からは年2回ずつ2017年までの“12年間・24回リサイタル・シリーズ”を開始。公演は全国7都市(東京、大阪、札幌、仙台、名古屋、福岡、北九州)において進行中である。ショパン生誕200年にあたる2010年のショパン国際ピアノコンクールを始め、チャイコフスキー、ロン＝ティボーなどのコンクールで審査員を務めている。また、2011年の東日本大震災以降、東北出身ということもあり、被災地の学校や公共施設等で演奏を続けている。CDは、ソニーから27枚をリリース。2013年4月にリリースされた新譜『シャコンヌ』は、前作『ヴォカリーズ』から2作連続でレコード芸術誌特選盤に選ばれた。

#### ◆ 主な受賞歴 ◆

- |       |                     |
|-------|---------------------|
| 1981年 | 日本音楽コンクール第4回河合賞     |
| 1982年 | チャイコフスキー 国際コンクール第3位 |
| 1985年 | ショパン国際ピアノコンクール第4位   |
| 1986年 | 第12回日本ショパン協会賞       |
| 1994年 | 飛騨古川音楽奨励賞           |
| 2005年 | 文化庁芸術祭音楽部門大賞        |
| 2005年 | 第7回ホテルオークラ音楽賞       |

#### 4. 第 43 回 東燃ゼネラル音楽賞 洋楽部門奨励賞

古典四重奏団 (こてんしじゅうそうだん)  
弦楽四重奏

株式会社アレグロミュージック  
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-29  
グルックハイム紀尾井町 5002  
Tel: 03-5216-7131/ Fax: 03-5216-7130

古典四重奏団 HP  
<http://www.gregorio.jp/qc/>  
[qc@gregorio.jp](mailto:qc@gregorio.jp)

◆ 贈賞理由 ◆

弦楽四重奏は西洋音楽の中でも中枢を占める領域だが、我が国では、未だこの領域だけを演奏する団体として存立していくことは極めて難しい。そうした中で古典四重奏団は、1986年の創立以来、その名から想起される古典派の作品はもちろん、ロマン派や 20 世紀の作品に至るまで、高度の技術や深い知的理解を背景に、情感と内実の豊かな優れた演奏を供すると同時に、録音も残してきた。そのレパートリーはすでに 70 曲以上を数えるが、そのすべてを暗譜で演奏するという離れ業を演じ続けることで、他の団体にはない独自の地歩を築いてきた。我が国では敬遠されがちな分野における地道な活動と、これまで残してきた多大な成果を賞し、今後のさらなる活発な活動を期待してこの賞を贈る。

(音楽賞洋楽部門 選考委員会)

◆ 略歴 ◆

1986 年東京芸術大学および同大学院卒業生により結成。レパートリーは 70 数曲にのぼり、そのすべてを暗譜で演奏。研ぎ澄まされた集中力と温かく透明なハーモニーを持ち、作品へのアプローチは極めて独創的である。全員がピリオド楽器(古楽器)の演奏もするが、古典四重奏団では通常のモダン楽器を使用。現在「SQW シリーズ」「音楽が見える! in 新百合ヶ丘」「ハイドンの部屋」「ムズカシイはおもしろい!」の 4 つの定期演奏会を継続中。レクチャーコンサートも多数開催している。1996 年、ニューヨークの鬼オステイヴ・ライヒと日本人として初めて「ディファレント・トレインズ」を共演。1999 年ダンスカンパニー「ノマド〜s」との共演でギリシア公演。2005 年ドイツ公演。これまでに、ベートーヴェン後期(全 4 枚)、バッハ『フーガの技法』、シューベルト『死と乙女』、モーツァルト『ハイドンセット』(全 3 枚)、バルトーク全 6 曲(2 枚組+解説 CD)リリース。

※メンバー

川原千真(かわはら ちま) [第 1 ヴァイオリン]  
花崎淳生(はなざき あつみ) [第 2 ヴァイオリン]  
三輪真樹(みわ まき) [ヴィオラ]  
田崎瑞博(たさき みずひろ) [チェロ]

◆ 主な受賞歴 ◆

1997 年 村松賞受賞  
2004 年 文化庁芸術祭大賞  
2007 年 文化庁芸術祭優秀賞

## 東燃ゼネラル児童文化賞・東燃ゼネラル音楽賞 概要

東燃ゼネラル児童文化賞及び東燃ゼネラル音楽賞は、日本の児童文化、音楽文化の発展・向上に大きく貢献した個人または団体をたたえる目的で創設されました。毎年、児童文化賞、音楽賞邦楽部門、音楽賞洋楽部門本賞、音楽賞洋楽部門奨励賞の4賞につき、各々1個人または1団体が選ばれ、それぞれトロフィーと副賞賞金 200 万円が贈られます。

### 【東燃ゼネラル児童文化賞】

1966年に創設された児童文化賞は、今年で48回を数える歴史ある賞に発展しました。受賞者と受賞分野の多彩さがこの賞の特色であり、作家、学者、研究者、評論家、歌手、俳優、野草園長、子供新聞の編集発行、人形劇の祭典、ミュージカル主宰など、全国的に著名な活動からあまり知られていない地域の活動まで、児童文化の各種分野から幅広く受賞者が選ばれています。

### 【東燃ゼネラル音楽賞】

1971年に創設された音楽賞は、今年で43回目を迎えます。また、洋楽部門では1989年より、日本を代表する優れた若手音楽家を讃えるために奨励賞が設けられています。邦楽部門においては、これまでに20人の受賞者が重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されています。邦楽部門・洋楽部門を併せ持ち、単年度内の功績ではなくそれまでの実績全体に視点を置いた選考を行っている点がこの賞の特色です。

### 選考方法

児童文化界、音楽界の有識者の方々に受賞候補者の推薦を依頼し、その結果を参考にして、各部門3名の選考委員により構成される選考委員会において審議の上、受賞者を決定しました。

### 選考委員（敬称略、順不同）

#### 【児童文化賞】

松居 直	児童文学者
野上 暁	児童文化研究家
仲居 宏二	聖心女子大学教授

#### 【音楽賞 邦楽部門】

徳丸 吉彦	お茶の水女子大学名誉教授、聖徳大学教授
山川 直治	日本音楽研究家
塚原 康子	東京藝術大学教授

#### 【音楽賞 洋楽部門】

関根 礼子	音楽評論家
中村 孝義	大阪音楽大学理事長
諸石 幸生	音楽評論家

## 東燃ゼネラル児童文化賞 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1966	初山 滋* 日本童話会	童画家 会長・後藤 樽根*
2	1967	千葉県三* 人形劇団プーク	童話作家 代表・川尻泰司
3	1968	椋 鳩十* ダークダックス	児童文学者 コーラスグループ
4	1969	金沢嘉市* 市川市立養護学校の詩集「いずみ」	教育評論家
5	1970	眞理ヨシコ 戸塚 廉*	童謡歌手 「おやこ」新聞編集発行
6	1971	吉澤 章*	折り紙作家
7	1972	菅野邦夫	仙台市野草園園長
8	1973	アン・ヘリング	児童文学研究家
9	1974	滝平二郎*	きり絵作家
10	1975	辻村ジュサブロー	人形作家
11	1976	富田博之* 劇団「風の子」	青少年文化研究者 代表・多田 徹
12	1977	坂本小九郎と湊中学校養護学級の生徒達	美術教育と版画制作
13	1978	佐野浅夫 瀬川康男*	俳優 絵本作家
14	1979	田沼武能	写真家
15	1980	渡辺茂男*	児童文学者
16	1981	ろばの会	作曲家グループ
17	1982	富山県立近代美術館	館長・小川正隆
18	1983	萩本欽一	TVタレント
19	1984	長崎県外海町	町長・平野武光
20	1985	東京放送児童合唱団	代表・近藤真司
21	1986	手で見るギャラリー・TOM	代表 村山亜土・村山治江
22	1987	ポニージャックス	コーラスグループ
23	1988	人形劇カーニバル飯田実行委員会	実行委員長・松澤太郎
24	1989	岡本忠成*	アニメーション作家
25	1990	与田準一*	童謡・童話作家
26	1991	今西祐行*	児童文学作家
27	1992	「中学生日記」	NHKテレビ番組
28	1993	松居 直	福音館書店会長
29	1994	香川県大川郡大内町	町長・中條弘矩
30	1995	「まんが日本昔ばなし」	テレビアニメ番組:愛企画センター制作
31	1996	神沢利子	児童文学作家
32	1997	阪田寛夫*	詩人・作家
33	1998	細川真理子	「札幌こどもミュージカル」代表
34	1999	太田大八	絵本画家
35	2000	谷川俊太郎	詩人
36	2001	大原れいこ	テレビ演出家
37	2002	長 新太*	絵本作家
38	2003	山中 恒	児童文学作家
39	2004	越部信義	作曲家
40	2005	松谷みよ子	作家
41	2006	演劇集団 円 円・こどもステージ	児童劇
42	2007	佐藤さとる	児童文学作家
43	2008	今江祥智	児童文学作家
44	2009	神宮輝夫	児童文学研究家・翻訳家
45	2010	今森光彦	写真家
46	2011	河合雅雄	霊長類学者
47	2012	加古里子	児童問題研究家

(敬称略・\*は故人)



## 東燃ゼネラル音楽賞邦楽部門 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1971	山口五郎*	琴古流尺八
2	1972	松崎倭佳* 稀音家幸*	長唄 三味線
3	1973	菊原初子*	地歌 箏曲
4	1974	田中伝左衛門*	歌舞伎 長唄囃子
5	1975	杵屋正邦*	現代邦楽作曲
6	1976	観世寿夫*	能楽 シテ方
7	1977	山彦河良*	河東節
8	1978	杵屋佐登代*	長唄 唄方
9	1979	鶴田錦史*	薩摩琵琶
10	1980	町田佳聲* 福原百之助*	邦楽研究評論 長唄 囃子笛方
11	1981	太田里子*	地歌 箏曲
12	1982	今藤長十郎*	長唄 三味線
13	1983	都 一中*	一中節 三味線
14	1984	常磐津文字兵衛	常磐津節 三味線
15	1985	浅川玉兎* 竹本住大夫	長唄研究 義太夫節太夫
16	1986	杵屋五三郎*	長唄 三味線
17	1987	中田博之*	箏曲
18	1988	平井澄子*	現代邦楽
19	1989	米川敏子*	箏曲
20	1990	日本音楽集団	現代邦楽創造グループ
21	1991	尺八三本会	尺八
22	1992	宮田哲男	長唄 唄方
23	1993	一噌幸政*	能楽笛方
24	1994	都一いき*	一中節
25	1995	藤井久仁江*	地歌 箏曲
26	1996	竹本駒之助	女流義太夫
27	1997	芝 祐靖	雅楽
28	1998	観世榮夫*	能楽 シテ方
29	1999	鶴澤清治	文楽 三味線方
30	2000	田島佳子*	長唄 三味線方
31	2001	山本東次郎	大蔵流狂言
32	2002	川瀬白秋*	箏曲 胡弓
33	2003	大和久満*	大和楽 三味線方
34	2004	米川裕枝	箏曲
35	2005	味見 亨	長唄 三味線方
36	2006	野坂恵子	箏曲
37	2007	横道萬里雄*	楽劇評論
38	2008	今藤政太郎	長唄 三味線方
39	2009	藤舎呂船	邦楽囃子
40	2010	近藤乾之助	能楽 宝生流 シテ方
41	2011	豊竹咲大夫	文楽義太夫節太夫
42	2012	清元美治郎	清元 三味線方

(敬称略・\*は故人)

## 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門本賞 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1971	江藤俊哉 *	ヴァイオリン
2	1972	朝比奈 隆 *	指揮
3	1973	東京室内歌劇場	オペラ
4	1974	巖本真理弦楽四重奏団 *	室内楽
5	1975	小澤征爾	指揮
6	1976	鈴木鎮一 *	音楽教育
7	1977	園田高弘 *	ピアノ
8	1978	音楽之友社	音楽総合出版
9	1979	小林道夫	チェンバロ
10	1980	二期会	声楽研究・オペラ公演
11	1981	武満 徹 *	作曲
12	1982	渡辺暁雄 *	指揮
13	1983	札幌交響楽団	オーケストラ
14	1984	野村光一 *	音楽評論
15	1985	東 敦子 *	ソプラノ
16	1986	藤原歌劇団	オペラ
17	1987	堤 剛	チェロ
18	1988	アンリエット・ピュイグ＝ロジエ *	ピアノ
19	1989	吉田雅夫 *	フルート
20	1990	三善 晃	作曲
21	1991	若杉 弘 *	指揮
22	1992	中澤 桂	ソプラノ
23	1993	和波孝禧	ヴァイオリン
24	1994	松村禎三 *	作曲
25	1995	今井信子	ヴィオラ
26	1996	秋山和慶と東京交響楽団	
27	1997	畑中良輔 *	バリトン・音楽評論
28	1998	松本美和子	ソプラノ
29	1999	鈴木雅明とバッハ・コレギウム・ジャパン	
30	2000	大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス	
31	2001	西村 朗	作曲
32	2002	海老彰子	ピアノ
33	2003	福井 敬	テノール
34	2004	小栗まち絵	ヴァイオリン
35	2005	中村紘子	ピアノ
36	2006	モーツァルト劇場(主宰:高橋英郎)	オペラ
37	2007	前橋汀子	ヴァイオリン
38	2008	ゲルハルト・ボッセ *	指揮
39	2009	大野和士	指揮
40	2010	田中信昭	合唱指揮
41	2011	公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団	オーケストラ
42	2012	舘野泉	ピアノ

(敬称略・\*は故人)

## 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門奨励賞 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1989	吉野直子	ハーブ
2	1990	漆原朝子	ヴァイオリン
3	1991	長谷川陽子	チェロ
4	1992	佐久間由美子	フルート
5	1993	仲道郁代	ピアノ
6	1994	錦織 健	テノール
7	1995	千住真理子	ヴァイオリン
8	1996	高橋薫子	ソプラノ
9	1997	樫本大進	ヴァイオリン
10	1998	若林 顕	ピアノ
11	1999	佐野成宏	テノール
12	2000	横山幸雄	ピアノ
13	2001	森 悠子主宰長岡京室内アンサンブル	
14	2002	矢崎彦太郎	指揮
15	2003	川田知子	ヴァイオリン
16	2004	斉田正子	ソプラノ
17	2005	渡辺玲子	ヴァイオリン
18	2006	篠崎和子	ハーブ
19	2007	藤村実穂子	メゾソプラノ
20	2008	幸田浩子	ソプラノ
21	2009	趙 静	チェロ
22	2010	藤倉大	作曲
23	2011	粟國淳	オペラ演出
24	2012	山崎伸子	チェロ

(敬称略)